

出版社と図書館との新しい関係

木村 和生

一冊の本との出会いが人生を変える。

そのような経験がある人は幸せである。出版に携わる者として、世の人々にそのような体験をお届けできたらどんなに喜ばしく、そして誇らしく感じるだろう。地方の小さな出版社であろうがその想いには違いはない。だが、出版業界を取り巻く環境はなかなか厳しいものがある。

出版科学研究所の調査では、1996年をピークに書籍と雑誌を合わせた紙の出版販売額は長期低落傾向を続け、直近のデータでは約半分にまで市場規模が縮小してしまった。その間に消失してしまった売上金額は約一兆円。電子書籍市場が顕著な伸びを示しているものの、とてもその全てをカバーできるレベルには至っていない。日本ではすでに江戸時代から出版が商業化されていたそうだが、世界でも類を見ない歴史を誇る日本の出版産業が、いま大きな岐路に立たされていることは間違いない。

問題が起きた時に、その原因を自分以外に求めてしまうのは人間の性だが、出版業界にも同じような傾向が見てとれる。かつて、中古書店を相手に同じような議論があったように記憶しているが、図書館のせいで本が売れなくなっているという話をする輩がいる。確かにベストセラーの複本(大量仕入)といった問題もあると思うが、そんな単純な話ではない

だろう。そもそも、それでは何ら問題の解決には繋がっていない。

ネット社会の到来やスマートフォンの普及により、情報は無料という風潮が広がっている。大学生の一日の読書時間ゼロが半数超という実態調査のニュースも記憶に新しいが、そのような中、出版社には良いコンテンツを提供していくと共に、未来の読者を創造していくという姿勢が必要になってきている。

未来の読者が生まれゆく場として最も大きな可能性を秘めているのが図書館ではないだろうか？本との出会いの場、本を読む人が集う場、本好きが集う場が図書館である。実際に図書館のヘビーユーザーほど本をよく買っているらしい。出版社にとって図書館は敵視する存在ではなく、ともに未来の知的社会を創りあげていく同志である。特に地方出版社は、営利事業としての側面以上に地域の文化・教育に寄与する存在であることが求められる。お互いに連携をしていく相手として、これほど相応しい存在はなかろう。

一隅を照らすこれ則ち国宝なり

最澄の言葉にあるとおり、名は知れずとも素晴らしい活動をしている人々が地方にはたくさんいる。光の当たらないところに光を当てるのが出版社をはじめとするメディアの使命であるが、それを伝えていく読み手を増やしていく施策が両輪として必要になってくる。そのために共に手を携えていくパートナー。それが出版業界と図書館との新しい関係ではないだろうか？

(北方新社 代表取締役)





ホームページから 予約をしてみませんか？

利用するためには図書館カードと図書館が交付する仮パスワードおよびメールアドレスの登録（予約貸出連絡時に使用）が必要です。

弘前市立図書館ホームページアドレス
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/tosho/>



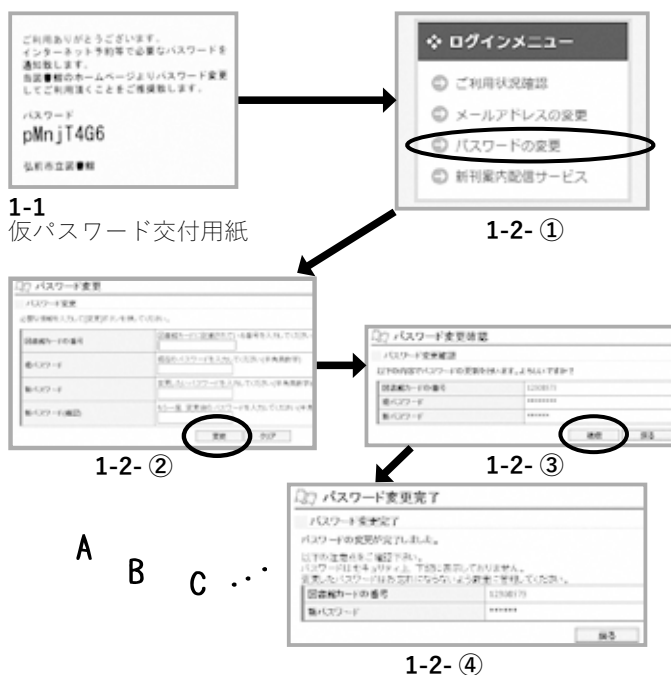
START!!

利用を開始する①

1 パスワードを登録する

1-1 図書館カウンター窓口で仮パスワードを交付しますので、図書館カードをご持参の上お越しください。

1-2 ホームページトップ画面左側にある「ログインメニュー」から「パスワードの変更」を開き、必要な情報を入力します。「現パスワード」入力欄にはカウンターで交付された仮パスワードを、「新パスワード」入力欄にはご希望のパスワードを入力し「変更」を選択します。その後、変更確認画面が表示され、「送信」を選択すると、パスワード変更完了となります。



利用を開始する②

2 メールアドレスを登録する

2-1 「ログインメニュー」から「メールアドレスの変更」を開き、必要な情報を入力し「変更」を選択。次に登録したいメールアドレスを「新メールアドレス」入力欄に入力し「送信」を選択します。登録したアドレスに確認のメールが届いたら、メールアドレス変更完了となります。



Tips!

予約の前に



まずは予約したい資料を探しましょう。ホームページトップ画面左側にある「弘前市立図書館」のメニューから「蔵書検索・予約」を開きます。書名や著者名を入力して「検索」します。



3 予約をする

3-1 資料の検索結果一覧から予約したい資料を選択し、検索結果詳細の画面から「**予約申込**」を選択します。

3-2 図書館カードの番号とパスワードを入力して「**ログイン**」を選択します。

3-3 予約登録の画面の各項目を入力し「**予約**」を選択します。

- ・連絡方法（「メール」・「連絡不要」のいずれかを選択）
- ・受取館
- ・受取ステーション（受取館に移動図書館を選択した場合は必ず受取ステーションを選択してください）

3-3

3-4 予約確認の画面が表示され、「**送信**」を押すと予約完了となります。

Tips!

予約した後は



ログインしたら、ご自身のIDが他の人に見られたり悪用されることのないよう、必ず「**ログアウト**」を選択して利用を終了してください。



3-1-①

3-1-②

3-2

3-4-①

3-4-②

今回ご紹介した画面操作の方法はあくまで一例です。

なお、予約は6点まで申込が可能です。また、予約サービスのほかにも、利用状況の参照や貸出の延長をホームページからおこなうことができます。図書館に来館しなくても利用できるインターネットサービスをぜひご活用ください。



『満月をまって』

メアリー・リン・レイ/文 バーバラ・クーニー/絵
掛川恭子/訳
あすなろ書房 2000年

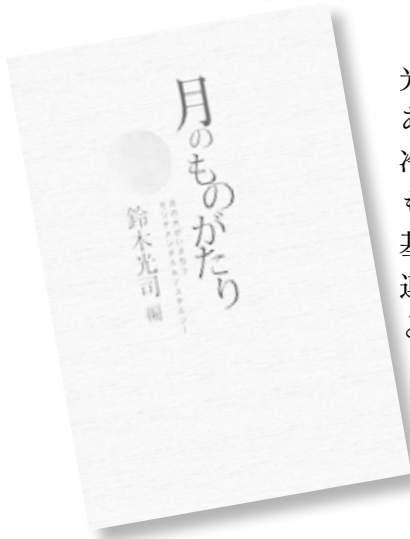
今から100年以上前、ニューヨーク州のハドソンからそれほど遠くないコロンビア郡の山間で、かごを作って暮らしていた人たちのおはなしです。満月になると、作ったかごをハドソンに売りに行く父。「もっと大きくなったらな」と言われ、中々ハドソンに連れて行ってもらえないぼくは9歳になってやっと連れて行ってもらえることに。しかし、そこでぼくが目にしたこととは……。木や風の声に耳を澄ましなが、自然と共に暮らす人達の、静かな強さが描かれています。



『月のものがたり』

鈴木光司/編
ソフトバンククリエイティブ 2006年

かしわばやしで開かれる夏のおどりの第三夜、白く光を失った月を仰いで咆哮する一匹の虎……。時にはあたたかく見守るように、そして時には残酷なまでに冷たく光って、月の姿は作品の数だけあります。小説もあれば、詩や短歌もあり。宮沢賢治、中島敦、梶井基次郎、萩原朔太郎、太宰治など、今なお歴史に名を連ねる著名な作家達が描いた作品の数々。秋の夜長にどうぞお楽しみください。



今回のテーマ

月



テーマで選ぶ

『ひぐまのあき』

手島圭三郎/絵と文 福武書店 1986年

国内外の数々の賞を受賞している、手島圭三郎の代表的な絵本のひとつです。木版画によるこの絵本は、北海道に生きるヒグマの親子の晩秋の日々を圧倒的な迫力で描き、大自然のなかで子熊が成長していく姿を見事に捉えています。

はじめ1986年に福武書店から出版され、最近、絵本塾出版から復刻出版されました。弘前図書館では、本年6月から7月にかけて「手島圭三郎絵本原画展」を開催。来館された多くの方に観賞していただきました。



『星を継ぐもの』

ジェイムズ・P・ホーガン/著 池央耿/訳

東京創元社 1998年



近未来の地球。月面の調査で発見された赤い宇宙服を着た遺体。調査したところ、5万年も前に死亡していたことが判明します。

「チャーリー」と名付けられたこの遺体は、学者たちの手により本格的な調査が行われ、遺品から、現代技術を超える文明を持っていた事、かつて火星と木星の間に「ミネルヴァ」と呼ばれる惑星が存在した事などが明らかになります。「チャーリー」の出自が徐々に明らかになる中、木星の衛星「ガニメデ」から地球外生命体の宇宙船が発見され、事態は急展開を迎えます。日本では1981年に第12回星雲賞海外長編部門を受賞した、ハードSFの代表作。



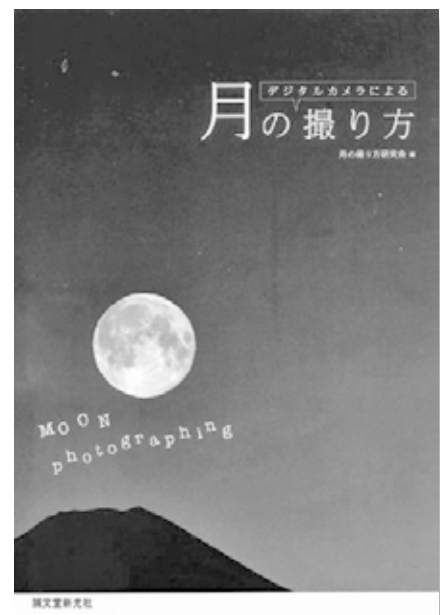
『デジタルカメラによる月の撮り方』

月の撮り方研究会/編

誠文堂新光社 2011年

晴れた日の朝、青空に浮かぶ淡い月、真夜中に燦然と輝く月……。満月、三日月、上弦の月などなど、月は満ち欠けを繰り返し、私たち見るものを楽しませてくれます。

それでは、写真を撮ったらどうでしょう? 「ブレる」「真っ白」「小さい」月を上手に撮ろうとすると、意外と難しいものです。この本では、一眼レフとコンパクトデジタルカメラの両方を使って、月を上手に撮影するコツが紹介されています。撮影技法のほか、月齢や月の呼び方など、月の基本的な知識も学ぶことができます。1冊です。



おすすめの本

郷土資料紹介

『まるかじり! りんごの本』 『りんごの本』 編集部/編 田淵周平/絵 美術出版社



これからの時期、収穫が本格化する「りんご」。この本は、歴史、品種、ポリフェノール等の成分とその健康作用、レシピ、見分け方など、様々な角度からりんごについて非常にわかりやすく解説してくれます。青森県に住む私たちにとってあまりにも身近なフルーツなので、なんとなく知っていると思いがちなのですが、この本を読むと改めて知ることが多く、りんごの良さを再発見することができます。かわいらしいイラストが印象的ですが、大人が読んでも楽しめる本です。



弘前市立図書館 催し物報告 6月～8月



書庫を探検！



6/30～7/1 岩木図書館

ぬいぐるみのおとまり会 in 岩木図書館

定員を上回る応募があり、抽選で当選されたみなさんにご参加いただきました。ぬいぐるみと一緒におはなし会を楽しんだ後は一旦お別れ。ぬいぐるみたちは図書館探検や、お仕事の体験をしました。迎えに来た子どもたちにはその様子を撮影した写真をプレゼント。「はとぶえ号を運転してる！」と驚いたり、笑顔で写真に見入ったりしていました。



みんなでおやすみ☆

7/21 岩木図書館

牛乳パックでケプラー望遠鏡をつくろう

牛乳パック2個と100円ショップで購入できる拡大鏡2個を使って、望遠鏡作りに挑戦しました。みなさんとても手際がよく、早く終わった子がまだ終わっていない子を手伝う光景も見られました。完成後は窓から外の景色を観察。上下さかさまでも大きくはっきり見えることが分かり、歓声が上がっていました。



ケプラー望遠鏡



宇宙について勉強しました



クイズぬり絵とおめでとうカード



クイズの答えは……



みんなでチャレンジ！

7/21～8/19 こども絵本の森

夏休みおはなしクイズラリー

毎年楽しみに来館してくれるご家族連れや、他の参加者を見て挑戦してみたくなった子など……沢山の子ども達が参加してくれました。答えを見つけるためにじっくりと絵本を読んだり、1人1人が本に触れたりしてそれぞれ楽しんでいるようでした。全問正解して、おめでとうカードや景品をもらう子ども達の誇らしげなこと！冬休みも開催しますので挑戦してみてくださいね。



7/28 弘前図書館

夏休みおはなし会



おはなしボランティアのしらゆり会のみなさんが、『うみきりん』や『なつのいちにち』の大型絵本の読み聞かせや、『うらしまたろう』のパネルシアター、『すいかのたね』のペープサート（紙人形劇）などを行い、夏らしいとても楽しいおはなし会になりました。からだを動かす遊びやクイズもあり、子どもたちは飽きることなく楽しんでおはなしを聞いていました。



おはなし会の様子



スタンプ（上）弘前図書館、岩木図書館
（下）こども絵本の森、相馬ライブラリー

8/1～8/31 図書館合同

親子 de チャレンジ スタンプラリー

弘前市立図書館4館分のスタンプを集めると、記念品をもらえるというこのイベント。スタンプが上手に押せて満足気な顔をした子ども達や、大人も参加できることを知り笑顔でスタンプを押していく一般の方々など、家族みんなで楽しんでいる様子が伝わってきました。開始して間もない8月5日に4館目のスタンプを押し、記念品のしおりを4人分手に入れたご家族もいました。



7/27～8/5 弘前図書館

図書館のお仕事やってみ隊

(小学生コース、中学生コース)

小学生コースでは、展示用資料の出納作業、本のフィルムコーティング、レファレンス体験、カウンター体験をおこないました。どの子も書庫から本を探し出すのが早く、各回とも100冊程度の本が集まりました。レファレンス体験では、図書館の本の並べ方の決まりである日本十進分類法の説明を交えながら本の探し方や並べ方を学んだ後、調べものにチャレンジ。本の中から問題の答えを探し出して、書名・著者名・ページ数などの出典までしっかりと回答用紙に書き込んでいました。

小学生コースの体験内容をベースに行った中学生コースは、参加人数は少なかったものの、参加した中学生はフィルムコーティングもスムーズにこなし、カウンターでの接客も最後まで落ち着いて対応していました。



カウンターのお仕事を体験



書庫の本を探してみよう！



本はどのように分類されているの？



9~11月

図書館これからの予定

キャラバンカーが弘前図書館にやってくる！
本と遊ぼう 全国訪問おはなし隊

絵本、児童書を約550冊載せたキャラバンカーの車内を自由に見て、おはなし隊によるおはなし会に参加しよう！当日はお土産もあるよ！2年に一度しか会えないキャラバンカーにぜひ遊びに来てね！参加無料。

日 時：9月15日（土）15:00～16:05
場 所：弘前図書館 東北電力側正面玄関前
対 象：幼児から小学校低学年



おはなしと読み聞かせ講習会

日 時：9月29日（土）14:00～16:00
場 所：弘前図書館 2階会議室
対 象：図書館で読み聞かせボランティアを始めてみたい方
講 師：高嶋敦子さん（JPIC読書アドバイザー）
持ち物：絵本1冊
申込方法：9月3日（月）より電話・カウンターで受付
内 容：絵本の読み聞かせの実技・実演方法や読み聞かせボランティアの活動内容の紹介など。参加無料。



バリアフリー映画会

日 時：10月6日（土）14:30～16:30（14:00開場）
場 所：弘前図書館 2階視聴覚室
申込方法：8月17日（金）より電話・カウンターで受付
内 容：映画『西の魔女が死んだ』を日本語字幕や音声ガイドつきで上映。参加無料。どなたでも。

講座・短歌を作ろう

日 時：10月13日（土）13:30～16:30
場 所：弘前図書館 2階会議室
対 象：中学生以上（定員15名）
内 容：NHK学園短歌講師、短歌会・運河の会代表山谷英雄による短歌の作り方講座。初心者歓迎。参加無料。



雑誌バックナンバーの無料提供

日 時：10月27日（土）9:30～（無くなり次第終了）
場 所：弘前図書館 2階視聴覚室
対 象：どなたでも（先着順）
内 容：図書館で不要になった雑誌のバックナンバーを無料で提供（詳細については後日発表）。



小学生に贈るおはなし

日 時：11月23日（金・祝）13:30～15:00
場 所：弘前図書館 2階視聴覚室
対 象：小学生またはお話に関心のある方
内 容：図書館スタッフとおはなし会ボランティア合同のおはなし会。絵本をとりかえっこするコーナーもあります。読まなくなった絵本があればお持ちください。参加無料。

こども絵本の森開館5周年記念イベント
絵本の森で遊ぼう！

2018年7月で5周年を迎えたこども絵本の森。これを記念して、人気絵本作家2人によるおはなし会と絵本ライブ、そして県内で広く活動されているM-Sessionれーじさんによるミニコンサートを行います。パントマイムやジャグリング、電子楽器の体験など楽しいことが盛りだくさん！みんなで5周年をお祝いして大いに楽しもう！事前申し込み不要。参加無料。

日 時：9月8日（土）13:30～16:30
場 所：ヒロロ3階イベントスペース
対 象：おおむね小学生以上（定員100名）
講 師：絵本作家 きたじまごうき先生、高橋徹先生（おはなし会と絵本ライブ）、M-Sessionれーじさん（ミニコンサート）



弘前図書館

開館時間 平日 9:30～19:00
土日祝日 9:30～17:00
休館日 毎月第3木曜日・年末年始・蔵書点検期間
電 話 32-3794

こども絵本の森

開館時間 10:00～18:00
休館日 毎月第3木曜日
蔵書点検期間
電 話 35-0155

岩木図書館

開館時間 平日 9:30～19:00
土日祝日 9:30～17:00
休館日 毎週月曜日・年末年始・蔵書点検期間
電 話 82-1651

相馬ライブラリー

開館時間 9:30～17:00
休館日 毎週水曜日・年末年始・蔵書点検期間
電 話 84-2316

